（参考資料）

振り返りシート

※　平成２９年９月に，岡山市立すべての小学校第６学年と中学校第３学年で実施した振り返りシートを掲載します。調査結果の活用を図るための有効な方法の一つであり，各校の取組のご参考にしていただきたいと考えます。

ふりかえりシート（チェック版）

6年　　組　　番　氏名

調査の結果をもとに苦手な問題を見つけ，
授業の受け方や家庭学習を見直し，これからの学習につなげよう。

1．調査結果から自分の弱点を探そう

ステップ1

個人票の問題ごとの結果や全国の正答率を確認しよう。

調査問題があれば，間違った問題にチェック（✔）を付けてみよう。

【個人票】

算数Ａ　正答数 8 /15問　全国の平均正答数 8.0問

●出題内容

算数では，「数と計算」，「量と測定」，「図形」，「数量関係」に関する内容について学習します。

算数Ａは，これまでの学習内容を整理し，しっかりと身に付けているかどうかをみるために，基礎的・基本的な知識・技能を問う問題などを出題しています。

●全国の状況（正答数ごとの児童の割合）

問題形式	正答数	全国の平均正答数
選択	3／7問	3.7／7問
短答	5／8問	4.3／8問
記述	—	—

学習指導要領の領域 ※1	正答数	全国の平均正答数
A 数と計算	3／8問	4.3／8問
B 量と測定	0／2問	1.1／2問
C 図形	2／2問	1.1／2問
D 数量関係	3／3問	2.1／3問

問題番号		問題の内容	結果	全国の正答率（%）	学習指導※2	学習指導要領の領域 A	B	C	D	問題形式
1	(1)	リボンを2m買ったときの代金と3m買ったときの代金を書く	○	53.2	3・5	★			★	短答
	(2)	買ったリボンの長さと，1m当たりのリボンの値段と，代金が，それぞれ数直線上のどこに当てはまるかを選ぶ	×	53.1	5	★				選択
	(3)	60×0．4を，60×4を基にして考えるときの，正しい積の求め方を選ぶ	×	53.3	5	★				選択
2	(1)	123×52を計算する	×	53.0	3	★				短答
	(2)	10．3＋4を計算する	○	53.3	4	★				短答
	(3)	6＋0．5×2を計算する	○	53.1	4	★			★	短答
	(4)	5÷9の商を分数で表す	—	53.1	5	★				短答
3		8と12の最小公倍数を求める	×	53.2	5	★				短答
4		重さ，長さについて任意単位による測定を基に比較しているものを選ぶ	×	53.2	1・3		★			選択
5		示された平行四辺形の面積の，半分の面積である三角形を正しく選ぶ	×	53.2	5		★			選択
6		円を使って正五角形をかくとき，円の中心のまわりの角を何度ずつに分割すればよいかを書く	○	53.2	5			★		短答

ステップ2

自分が間違った問題の中で，全国の正答率が高い問題や，もう一度取り組みたい問題を選ぼう。

例　【国語Ａ】７(1) 漢字を書く　参加たいしょう

【算数Ａ】５　示された平行四辺形の面積の，半分の面積である三角形を正しく選ぶ

【　　】

【　　】

【　　】

【　　】

2．学習方法を見直そう　当てはまるところを○で囲もう。

① 平日，１日当たりどれくらいの時間，勉強をしますか（じゅくや家庭教師の時間をふくむ）

（ア．３時間以上　イ．２時間～３時間　ウ．１時間～２時間　エ．１時間以下）

② 家で，学校の宿題をしていますか

（ア．している　イ．どちらかといえば，している　ウ．あまりしていない　エ．全くしていない）

③ 家で，その日学校の授業で習ったことを復習していますか

（ア．している　イ．どちらかといえば，している　ウ．あまりしていない　エ．全くしていない）

④ 家で，自分で計画を立てて苦手分野をこく服する学習をしていますか

（ア．している　イ．どちらかといえば，している　ウ．あまりしていない　エ．全くしていない）

3．目標を立てよう

✎授業でがんばりたいことや家庭学習で工夫したいこと，中学校進学に向けた自分の目標

振り返りシート（チェック版）

３年　　組　　番　氏名

調査の結果をもとに苦手な問題を見つけ，
授業の受け方や家庭学習を見直し，自分の進路決定につなげよう。

１．調査結果から自分の弱点を探そう

Step1

個人票の問題ごとの結果や全国の正答率を確認しよう。

調査問題があれば，間違った問題にチェック（✔）を付けてみよう。

【個人票】

Step２

自分が間違った問題の中で，全国の正答率が高い問題や，もう一度取り組みたい問題を選ぼう。

例　【国語Ｂ】１三　比喩を用いた表現に着目し，感じたことや考えたことを書く

【数学Ｂ】５　与えられた式から，aの変域に対応するbの変域を求める

【　　】

【　　】

【　　】

【　　】

２．学習方法を見直そう

当てはまるところを○で囲もう。

① 平日，１日当たりどれくらいの時間，勉強をしますか（塾や家庭教師の時間を含む）

（ア．３時間以上　イ．２時間～３時間　ウ．１時間～２時間　エ．１時間以下　）

② 家で，学校の宿題をしていますか

（ア．している　イ．どちらかといえば，している　ウ．あまりしていない　エ．全くしていない　）

③ 家で，その日学校の授業で習ったことを復習していますか

（ア．している　イ．どちらかといえば，している　ウ．あまりしていない　エ．全くしていない　）

④ 家で，自分で計画を立てて苦手分野を克服する学習をしていますか

（ア．している　イ．どちらかといえば，している　ウ．あまりしていない　エ．全くしていない　）

３．目標を立てよう

✎授業でがんばりたいことや家庭学習で工夫したいこと

✎進路に向けた自分の目標

ふりかえりシート（リトライ版）

6年　　組　　番　氏名

調査の結果をもとに苦手な問題を見つけ，
授業の受け方や家庭学習を見直し，これからの学習につなげよう。

1．調査結果から自分の弱点を探し，もう一度問題に取り組もう

ステップ1

個人票の自分が間違った問題の「全国の正答率」と「学習学年」のらんに，例のように赤えん筆や赤ペンで下線を引こう。

【個人票】

問題形式	正答数	全国の平均正答数
選択	1／ 7問	3.7／ 7問
短答	5／ 8問	4.3／ 8問
記述	―	―

	学習指導要領の領域　※1	正答数	全国の平均正答数
A	数と計算	3／ 8問	4.3／ 8問
B	量と測定	0／ 2問	1.1／ 2問
C	図形	1／ 2問	1.1／ 2問
D	数量関係	4／ 5問	2.7／ 5問

問題番号		問題の内容	結果	全国の正答率（%）	学習学年 ※2	学習指導要領の領域 A	B	C	D	問題形式
1	(1)	リボンを2m買ったときの代金と3m買ったときの代金を書く	○	53.2	3-5	★			★	短答
	(2)	買ったリボンの長さと，1m当たりのリボンの値段と，代金が，それぞれ数直線上のどこに当てはまるかを選ぶ	×	53.1	5	★				選択
	(3)	60×0．4を，60×4を基にして考えるときの，正しい積の求め方を選ぶ	×	53.3	5	★				選択
2	(1)	123×52を計算する	○	53.0	3	★				短答
	(2)	10．3＋4を計算する	×	53.3	4	★				短答
	(3)	6＋0．5×2を計算する	○	53.1	4	★			★	短答
	(4)	5÷9の商を分数で表す	×	53.1	5	★				短答

自分ができなかった問題の正答率と学習学年を確認しよう。

ステップ2

個人票を見ながら，問題用紙に自分の結果を，例のように記入しよう。

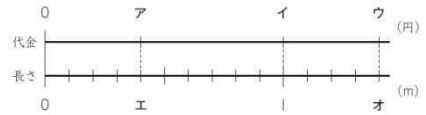
例

1

1mあたりの値段が60円のリボンを何mか買います。
そのときの代金の求め方を考えます。

○ (1) リボンを2m買ったときの代金はいくらですか。また，リボンを3m買ったときの代金はいくらですか。それぞれ答えを書きましょう。

× (2) リボンを0.4m買います。このときの代金を□円として，リボンの長さと代金の関係を下の図に表します。
「1mあたりの値段の60」，「買う長さの0.4」，「0.4m分の代金の□」のそれぞれの場所は，下の図のどこになりますか。
ア から **オ** までの中から，あてはまるものを1つずつ選んで，その記号を書きましょう。



ステップ3

ステップ1とステップ2から，もう一度チャレンジしたい問題を選んで，解いてみよう。

国語A

問題番号

解答らん

国語B

問題番号

解答らん

算数A

問題番号

解答らん

算数B

問題番号

解答らん

2．学習方法を見直そう　当てはまるところを○で囲もう。

① 平日，１日当たりどれくらいの時間，勉強をしますか（じゅくや家庭教師の時間をふくむ）

（ア．３時間以上　イ．２時間～３時間　ウ．１時間～２時間　エ．１時間以下 ）

② 家で，学校の宿題をしていますか

（ア．している　イ．どちらかといえば，している　ウ．あまりしていない　エ．全くしていない ）

③ 家で，その日学校の授業で習ったことを復習していますか

（ア．している　イ．どちらかといえば，している　ウ．あまりしていない　エ．全くしていない ）

④ 家で，自分で計画を立てて苦手分野をこく服する学習をしていますか

（ア．している　イ．どちらかといえば，している　ウ．あまりしていない　エ．全くしていない ）

3．目標を立てよう

✎授業でがんばりたいことや家庭学習で工夫したいこと，中学校進学に向けた自分の目標

振り返りシート（リトライ版）

3年　　組　　番　氏名

調査の結果をもとに苦手な問題を見つけ，
授業の受け方や家庭学習を見直し，自分の進路決定につなげよう。

1．結果から，自分の苦手な問題を見付けよう。

Step１　個人票の自分ができなかった問題の「全国の正答率」と「学習学年」の欄に，例のように赤鉛筆や赤ペンで下線を引こう。

例

問題形式	正答数	全国の平均正答数
選択	7 /13問	8.7 /13問
短答	14 /23問	14.7 /23問
記述	-	-

	学習指導要領の領域等 ※1	正答数	全国の平均正答数
A	数と式	9 /12問	8.5 /12問
B	図形	8 /12問	8.0 /12問
C	関数	4 /8問	4.6 /8問
D	資料の活用	0 /4問	2.3 /4問

問題番号		問題の内容	結果	全国の正答率（%）	学習学年 ※2	学習指導要領の領域等 A	B	C	D	問題形式
1	(1)	$\frac{5}{9}\times\frac{2}{3}$ を計算する	○	87.6	小6	★				短答
	(2)	a と b が負の数のときに四則計算の結果が負の数になるものを選ぶ	×	70.1	1	★				選択
	(3)	10−6÷(−2)を計算する	×	76.2	1	★				短答
	(4)	3月25日を基準にして3月23日を負の数で表す	○	89.7	1	★				短答
	(1)	5mの重さが a gの針金の1mの重さを，a を用いた式で表す	○	57.4	1	★				短答

Step２　個人票を見ながら，問題用紙に自分の結果を，例のように記入しよう。

例

1　次の(1)から(4)までの各問いに答えなさい。

○ (1) $\frac{5}{9}\times\frac{2}{3}$ を計算しなさい。

× (2) a と b が負の数のとき，下のアからエまでの計算のうち，計算の結果が必ず負の数になるものがあります。正しいものを1つ選びなさい。

ア　$a+b$

イ　$a-b$

ウ　$a\times b$

エ　$a\div b$

自分ができなかった問題の正答率を確認しよう。

国語B

問題番号

解答欄

Step３　Step1とStep2から，もう一度チャレンジしたい問題を選んで，解いてみよう。

国語A

問題番号

解答欄

数学A

問題番号

解答欄

数学B

問題番号

解答欄

自分が苦手な問題の内容が分かりましたか。
自主勉強などで、もう一度その問題に取り組んでみるといいですね。

2．学習方法を見直そう

当てはまるところを〇で囲もう。

① 平日，１日当たりどれくらいの時間，勉強をしますか（塾や家庭教師を含む）

（ア．３時間以上　イ．２時間～３時間　ウ．１時間～２時間　エ．１時間以下 ）

② 家で，学校の宿題をしていますか

（ア．している　イ．どちらかといえば，している　ウ．あまりしていない　エ．全くしていない ）

③ 家で，その日学校の授業で習ったことを復習していますか

（ア．している　イ．どちらかといえば，している　ウ．あまりしていない　エ．全くしていない ）

④ 家で，自分で計画を立てて苦手分野を克服する学習をしていますか

（ア．している　イ．どちらかといえば，している　ウ．あまりしていない　エ．全くしていない ）

3．目標を立てよう

✎授業でがんばりたいことや家庭学習で工夫したいこと

✎進路に向けた自分の目標